



## テレワークを生産性向上につなげるには

### テレワークの良さを生かすには

コロナ禍の影響で急速に普及してきたテレワークですが、テレワークを生かすためにはまず目的を明確にし、会社と社員で認識を統一しておく必要があります。制度の運用の土台づくりをしておかないと、テレワークにより生産性が上がる場合ばかりでなく、下がってしまう場合もあります。

### 出社と在宅勤務のメリット・デメリット

出社勤務と在宅勤務の比較をしてみます。メリット=M デメリット=D で表示

#### ① 通勤に関して

M、通勤時間がかからない、  
時間のゆとりができる  
通勤の心身の疲労は感じない

D、運動不足になりやすい  
オンオフの切り替えがしにくい

#### ② 人間関係に関して

M、在宅は気遣いからの解放  
出社は身だしなみに気を遣う  
出社は雑談、談話による息抜き  
出社は他者理解

D、在宅は身だしなみが気にならない  
在宅は孤独感、疎外感、真意伝達の困難さ  
出社時の人間関係のわずらわしさ

#### ③ 生産性に関して

M、在宅では自分の業務に集中できる  
出社ではチームで助け合いができる  
出社では連絡も密にできる

D、出社時は雑用で仕事が進まない時も  
出社では会議や打ち合わせが多い  
在宅では困りごとを相談しにくい  
在宅ではチームの状況が把握しづらい



在宅勤務の規程で中  
抜けや始業終業時間  
を変えて柔軟な働き  
方を可能にすること  
もできます

### 今後のテレワークの方向性

昨年の5月に行われた民間の大規模調査では、7割近い人がテレワークを今後も続けたいとしており、年齢の低い人ほどその比率は増えています。

テレワークを生かす3つのポイントは

- ① 目的の共有化……生産性向上を目指し、適切な労働時間管理、信頼関係の構築でルールを遵守
- ② インフラ&制度整備……ネットワーク環境、セキュリティー対策、紙からデータへの移行、運用ルール策定
- ③ コミュニケーション……メンバーの進捗状況の共有、相談態勢、心身ともに健康で働ける環境作り